

ZOLL Medical Corporationの 買収について

旭化成株式会社

2012年3月12日

1. 旭化成中期経営計画での位置づけ

2. ZOLL Medical Corporationの概要

3. 旭化成にとっての買収の効果

4. 買収の概要と財務影響

中期経営計画“For Tomorrow2015”の基本戦略 **AsahiKASEI**

✓「健康で快適な生活」
「環境との共生」の視点で、
✓グループをあげて
昨日まで世界になかったものを提供する

【基本戦略】

1. 事業戦略

【成長の追求】

(1)グローバルリーディング事業の展開

(2)新しい社会価値の創出

「健康で快適な生活」「環境との共生」視点
での事業推進

①環境・エネルギー関連事業の拡大

②住・くらし関連事業の拡大

③医療関連事業の拡大

2. 制度・仕組みの革新

【one Asahi Kasei経営の推進】

(1)グローバル展開推進策

(2)新事業開発推進策

(3)理念、価値観、ビジョンの徹底

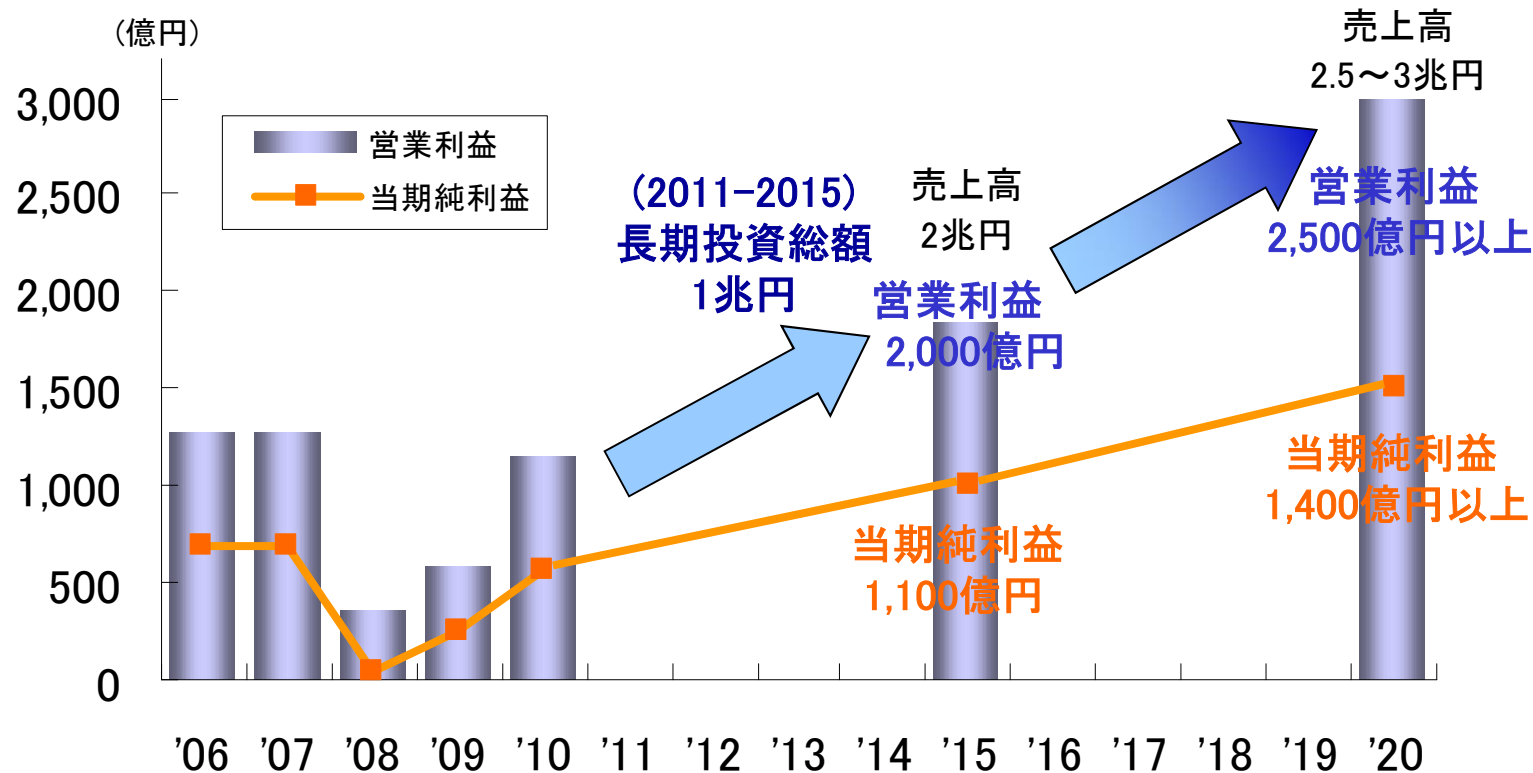
(4)人材施策

(5)経営管理、資源配分

目指すグループの姿

AsahiKASEI

社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
“昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上



ROE ('10 以下同じ)	9%
ROIC	7%
海外売上高比率	28%
〃 (除、住宅・建材)	(39%)

10%以上
7%以上
32%
(45%)

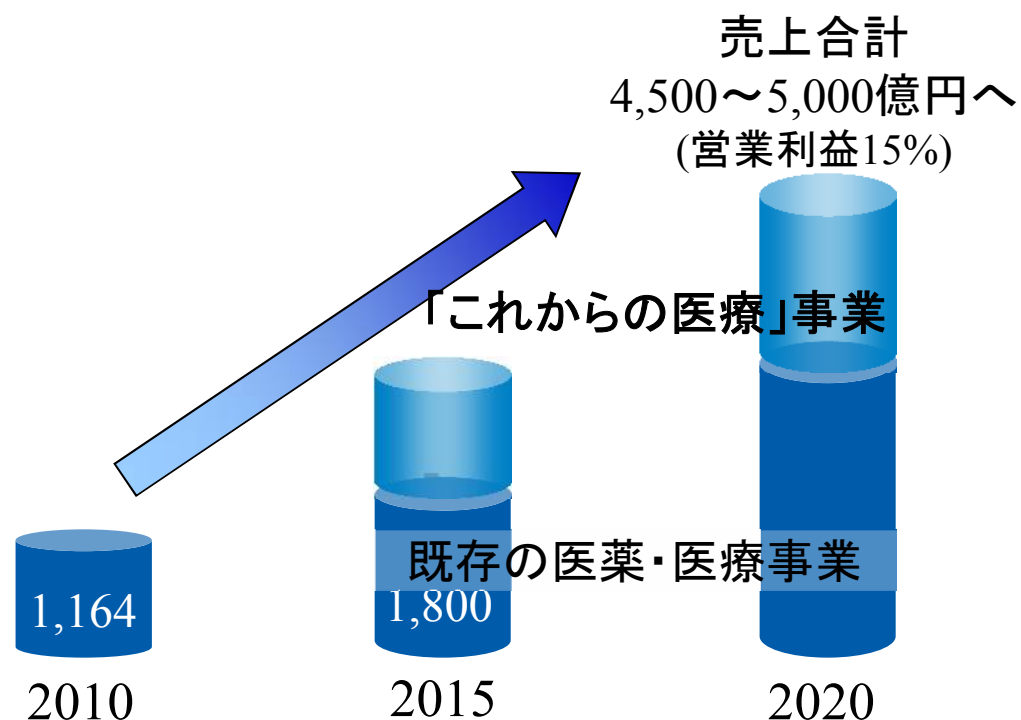
配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

ヘルスケアをケミカル/ホームズと並ぶ太い支柱に **AsahiKASEI**

既存の医薬、医療事業に新規の「これからの医療」事業を付加する

早期に／確実に太い支柱を作るために、「これからの医療」では、
成長ポテンシャルの高い強固な事業基盤《プラットフォーム》の構築を目指す

ヘルスケア事業 売上高



救命救急は中計成長戦略での重要な位置づけ

AsahiKASEI

中期経営計画「For Tomorrow 2015」で掲げた3つのプロジェクト

(i) これからの
環境・エネルギー
プロジェクト

(ii) これからの
住・くらしプロジェクト

(iii) これからの
医療プロジェクト

創エネ～蓄電～消費の
各ポイントでの革新的素材、
デバイス、システム

電池関連材料、キャパシタ、
省エネ部品、センサー

心も体も健康で快適
都市における絆の構築

環境対応
交流型
医住接近
生活サポート

急性期(救急)から
慢性期までの
シームレスな高度医療

在宅医療
医療IT

救命救急領域

細胞培養領域

21世紀の
社会が求める
新たな価値

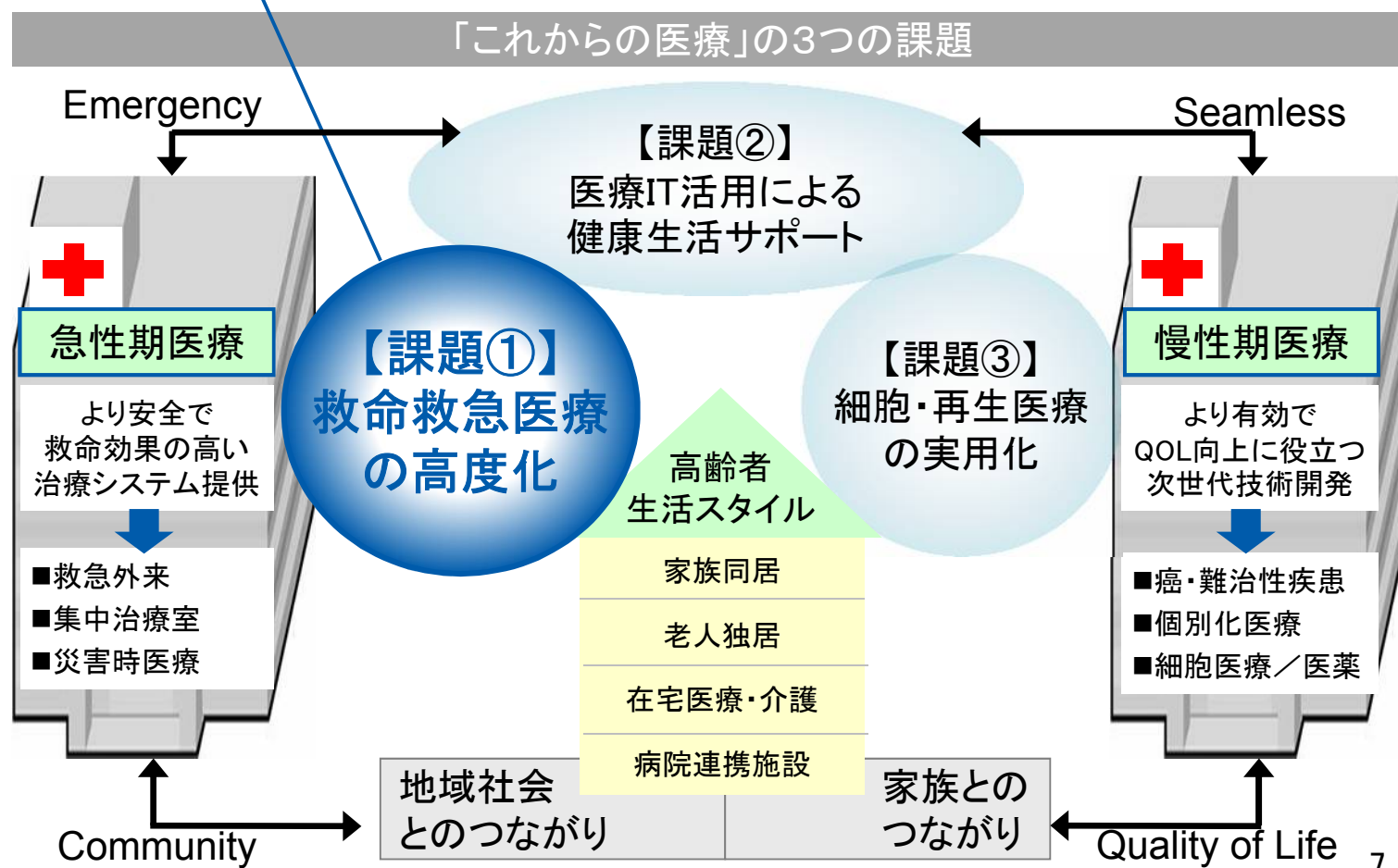
【環境との共生】

【健康で快適な生活】

「これからの医療」実現への重要な布石

AsahiKASEI

より安全で救命効果の高い治療システムにより、緊急時における
「人々のいのち」を救うために必要不可欠な医療を提供する
⇒救急外来、集中治療室、救急車はもとより、災害時医療、
AEDなど地域社会を含めて幅広くカバー

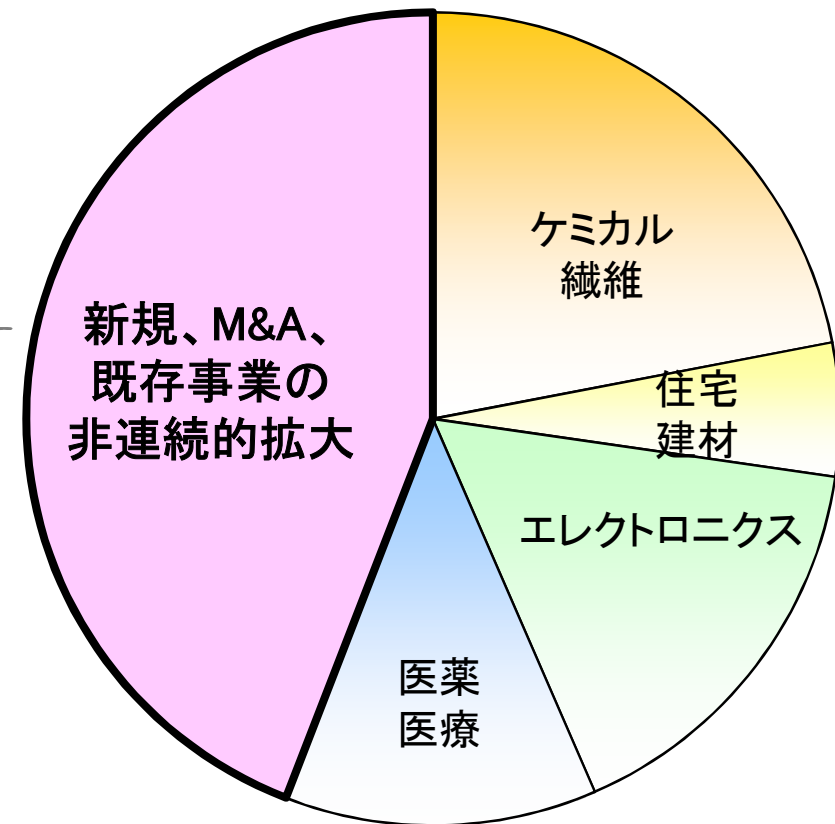


プラットフォームを迅速に構築するための手段、M&A **AsahiKASEI**

中計で発表した1兆円の長期投資計画

- 圧倒的に大きい米国医療機器市場でのプレゼンスが必要だが...
- 事業展開に必要なプラットフォーム（機能と人材）を育てるために莫大な時間と労力をかけるわけにはいかない

既に強い基盤・実績のある企業をM&Aで獲得する



1. 旭化成中期経営計画での位置づけ

2. ZOLL Medical Corporationの概要

3. 旭化成にとっての買収の効果

4. 買収の概要と財務影響

ZOLL Medical Corporationの概要

AsahiKASEI

ZOLL®

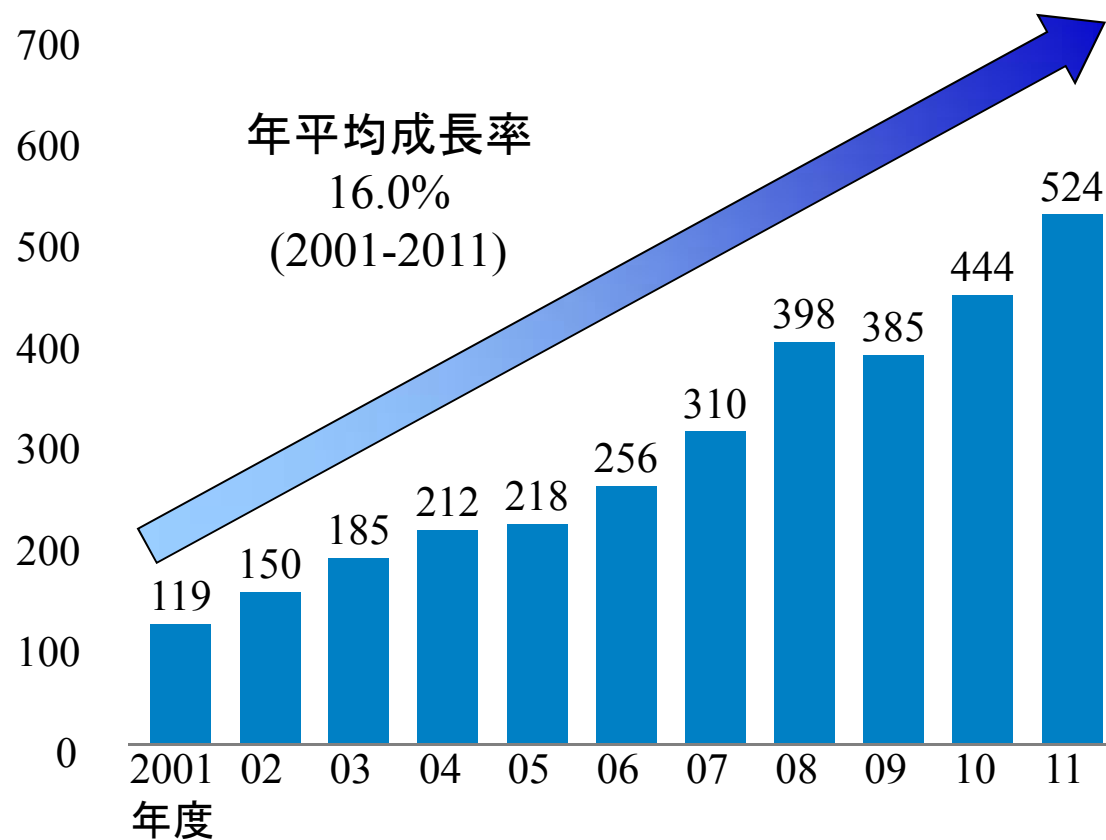
会社名	ZOLL Medical Corporation (ゾール・メディカル NASDAQ:ZOLL 以下、ZOLL)
設立	1980年
拠点	本社：マサチューセッツ州チェルムスフォード 拠点：ピッツバーグ、サニーベール、ブルームフィールドなど
CEO	Richard A. Packer
事業概要	生命蘇生技術をコアテクノロジーとする、救命救急領域に フォーカスした医療機器メーカー
従業員数	1,908人(2011年10月2日現在)
当社との関わり	・当社とZOLLは事業提携し、2011年8月より最新型AED「ZOLL AED Plus™」の日本での販売を開始 ・その後、両社マネジメント間で交流を深め、旭化成の経営戦略に合致すると判断、今回の買収に至る

一貫して高成長を記録: 直近も成長を継続

AsahiKASEI

ZOLL 連結売上高推移(単位: 百万米ドル)

2012年度第1四半期(10-12月)売上についても対前年18%増を達成



“Chain of Survival”に基づく製品ポートフォリオ

AsahiKASEI

Chain of Survival

アメリカ心臓学会(AHA)が定めた、救命に必須のプロセス



ZOLLの製品群



LifeVest
着用式除細動器

世界で唯一の
革新的医療機器



RescueNet
救急機関向け
基幹システム

米国最大手



AutoPulse™
自動心肺蘇生
システム



AED
自動体外式
除細動器



**医療機関・
救急機関向け
除細動器**

プロ市場で
高い定評



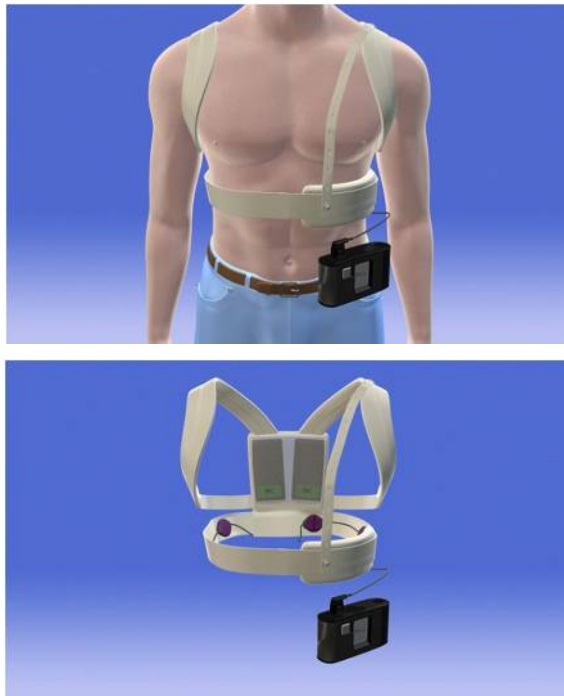
Thermogard
体温マネージメント
機器

血管内冷却法
で強固な地位

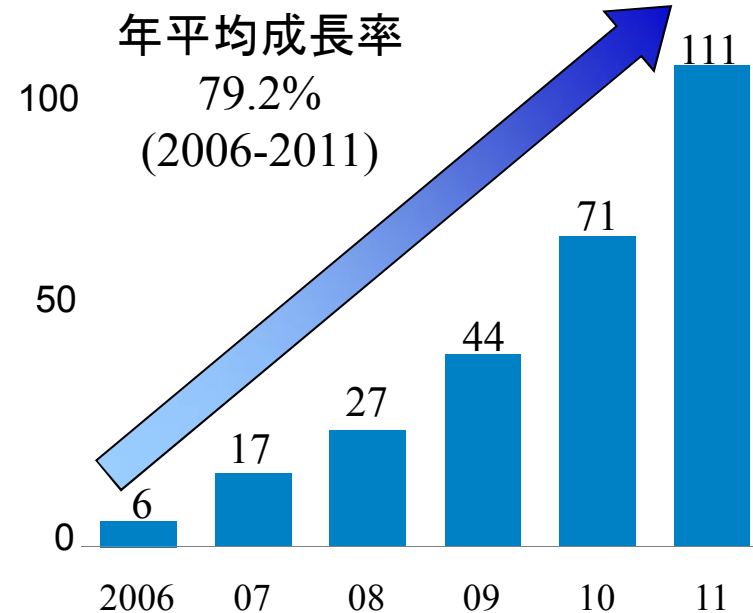
LifeVestの成長力 (FY11売上 \$111mn)

AsahiKASEI

- ・心停止リスクのある患者に用いる「着用式」除細動器で、のべ50,000名以上が使用
- ・「非侵襲性」が特徴(着脱可能)
- ・アメリカでは心停止リスクがある患者数が年間30万人以上
— 満たせていない患者様ニーズには相当の余地がある
- ・また、ドイツなど欧州展開を進めている (日本では未承認)
- ・優れたサービスビジネスモデル: ZOLLが患者様にLifeVestをレンタルし、医療サービス(使用方法説明等)を提供、ZOLLは保険機関から保険償還を受ける(平均着用期間2ヶ月)
- ・ユニークな技術であり、薬事承認された唯一の着用式除細動器



LifeVestの売上高(単位:百万米ドル)



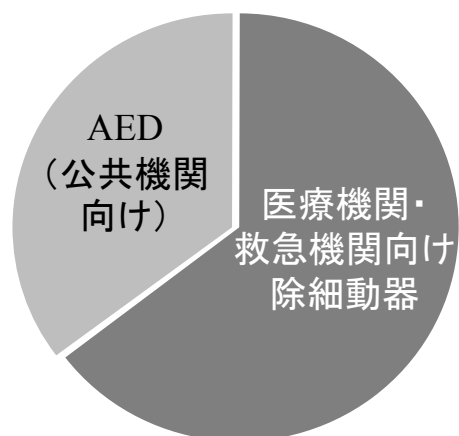
除細動器事業は米国で高い評価

AsahiKASEI

世界全体では3強の一角を占め、米国でのブランドを基に
グローバルな市場浸透を期待できる

世界除細動器市場は15億米ドル

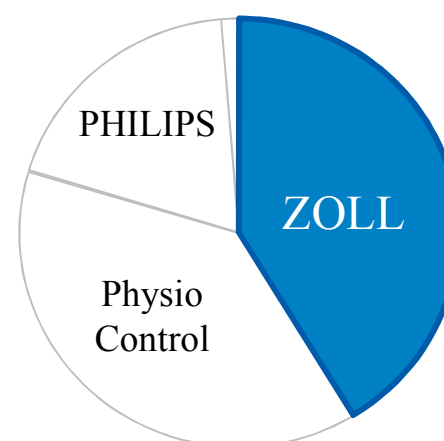
全世界の除細動器市場(金額ベース)



ZOLLは米国プロ向け市場で最大手ポジション

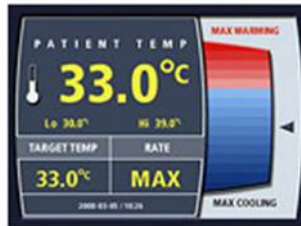
- ・米国市場は世界除細動器市場の3分の2を占める
- ・世界の医療技術をリードする米国で最大手

米国医療機関および救急機関の
プロ向け除細動器シェア



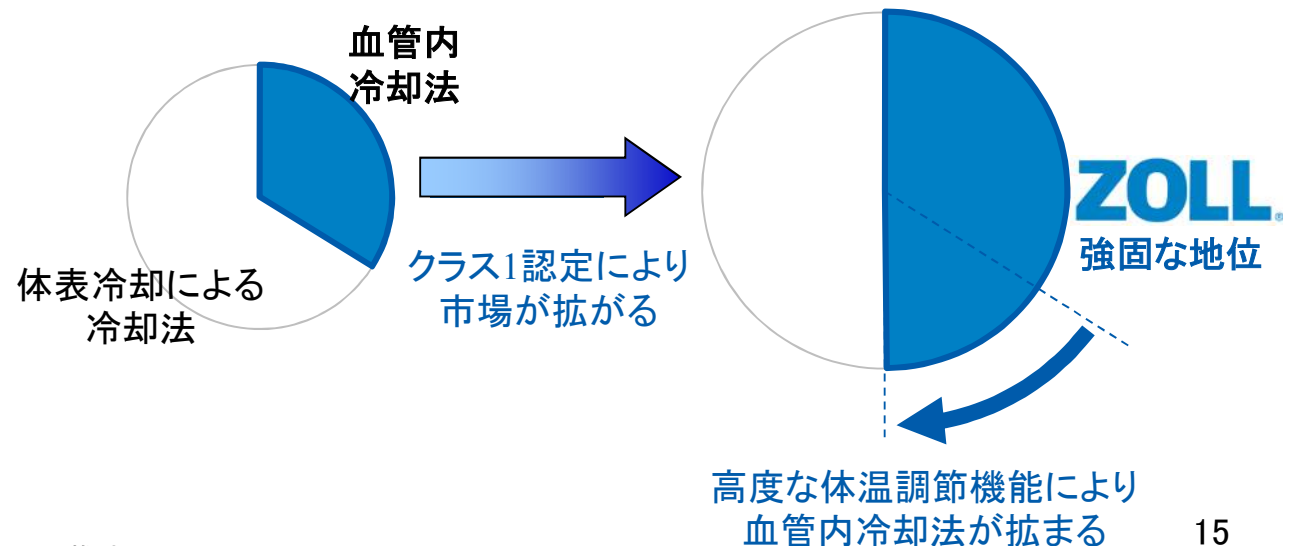
Thermogardの高い成長ポテンシャル (FY11売上 \$26mn)

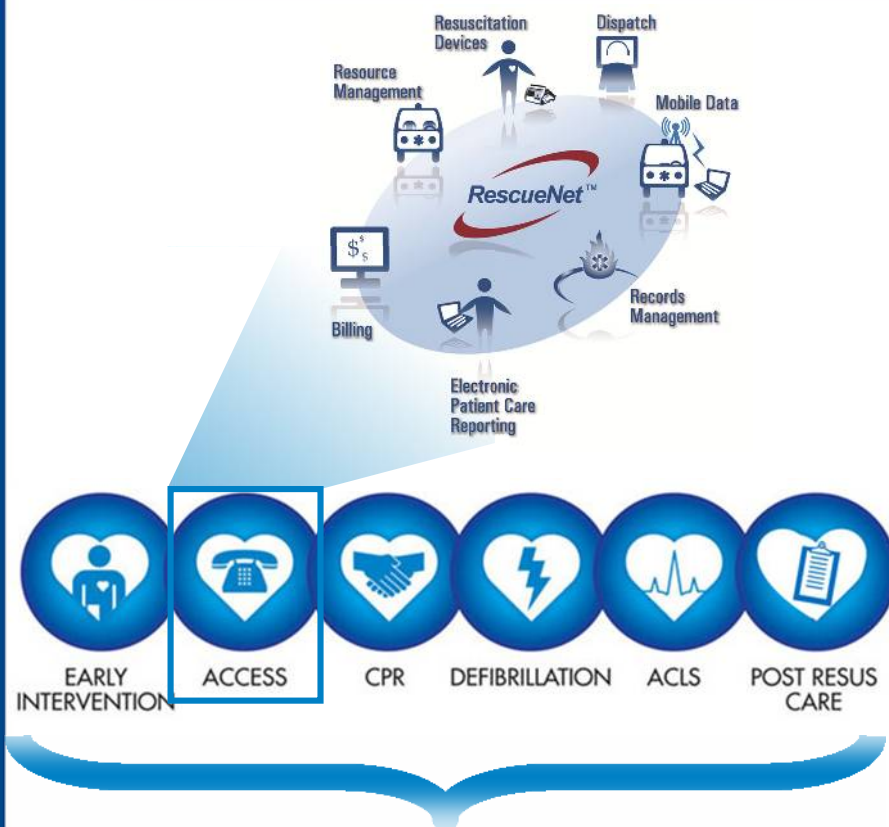
AsahiKASEI



拡がる市場、拡まる治療法の中で強固な地位

- ・体温マネジメント機器: 体温制御(熱中症など)や、心肺蘇生後の体温冷却に用いられる
- ・将来的には心筋梗塞後や脳梗塞後の予後治療機器としての可能性を期待
- ・拡がる市場: 低体温療法がアメリカ心臓学会(AHA)ガイドラインにおいてクラスIとして掲載
- ・拡まる治療法: Thermogardは血管内にカテーテルを通して冷却する血管内冷却法であり、高速・高精度で体温調節可能(心肺蘇生後には必須)
- ・ZOLLは血管内冷却法でのパイオニアー非常に強固な地位





Data management and Analysis

数値の出所: ZOLL

RescueNetシリーズは米国最大手

- ・救急機関(EMS)、消防署向けに緊急車両のディスパッチ、請求管理、患者情報管理等の機能を提供(除細動器とのデータ連携が可能)
- ・これまでの顧客は1,500団体以上

RescueNetを含め、既存製品間でデータ連携

- ・EMSと医療機関を有機的に結びつけるITソリューションであり、除細動器との連携だけでなくこれからのZOLLの医療機器事業を広範に支える
- ・将来的にLifeVestが患者モニタリング機能を有したときに、データ連携することも視野に入れた戦略的概念

完成された救命救急プラットフォーム

AsahiKASEI

製品開発 臨床開発 薬事承認	・製品開発力に高い評価：除細動器開発で培った心臓電気生理学における豊富な知識、専門家との連携関係、数多くの技術者 － 新たな技術を応用した機器を逐次開発中 ・米国およびグローバルで医療機器の臨床開発実績があり、現在も開発を進行中 ・米国内外で薬事承認および保険償還取得してきており十分な薬事対応力を保有
販売・市場開拓	・北米において、EMS、医療機関など救命救急における多くの顧客接点を保有・蓄積しており、今後も顧客接点を活用した事業拡大が期待できる ・欧州、中東、南米に米国でのブランドを活用した事業展開を進めており、海外売上は急拡大中である
製造・品質管理	・卓越した製造管理、品質管理力には定評がある
新規事業開発	・これまでにLifeVestやThermogardといった差別優位性あるシーズを見出し育ててきた実績があり、強い事業開発能力を持つ
経営陣	・除細動器などの汎用的な医療機器、LifeVest・Thermogardといった革新的な医療機器、RescueNetなどのITソリューションなど多岐に渡る医療事業を経営してきた実績がある

1. 旭化成中期経営計画での位置づけ

2. ZOLL Medical Corporationの概要

3. 旭化成にとっての買収の効果

4. 買収の概要と財務影響

グループ総合力にて救命救急領域を強化

AsahiKASEI

「いのちを救う」価値観に基づく救命救急戦略

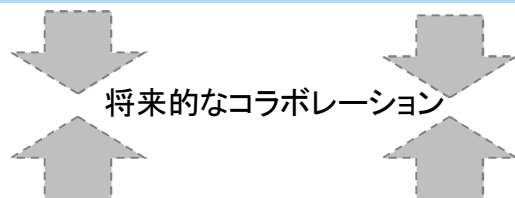
- ・ZOLL、当社メディカル、ファーマ3つのグループの総合力によって、「いのちを救う」救命救急戦略を推進
- ・「POST RESUS CARE」(蘇生後の回復)を皮切りに、各社の強みを活かしたコラボレーションを順次進めていく

Chain of Survival



ZOLL®

RescueNet LifeVest AutoPulse™ AED プロ向け除細動器 Thermogard



コラボレーション

			DIC・敗血症	リコモジュリン™	ファーマ
			急性腎不全	CRRT	メディカル

コラボレーション例

- ・共同での学会活動
- ・患者視点のニーズを共有することで新たな医療機器を開発
- ・日本、アジア、欧米、さらにその他の新興国への共同市場展開

AsahiKASEI

両社の強みで、ZOLLの事業展開を加速

AsahiKASEI

経済発展に伴い拡大するアジアでZOLLの事業展開を加速する

ZOLL

- ・世界の医療市場に圧倒的な影響力を持つアメリカでの高い評価とブランド
- ・成熟に近い製品から、発展途上の製品まで幅広い製品ポートフォリオ

ZOLLは欧米では非常に強いが、アジアでの存在感はまだ小さい



当社から製品改良の
フィードバック

AsahiKASEI

- ・既存の医薬、医療機器事業を通じて得た医療現場でのマーケティング・製品開発力、薬事等法令や医療保険制度への対応力

1. 旭化成中期経営計画での位置づけ

2. ZOLL Medical Corporationの概要

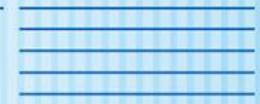
3. 旭化成にとっての買収の効果

4. 買収の概要と財務影響

買収の概要と財務影響

AsahiKASEI

買収価格	・1株あたり93米ドル ※2012年3月9日までの30営業日終値の取引高加重平均株価に対して29.6%のプレミアム ※100%取得にかかる費用 約22.1億米ドル
買収スキーム	・マサチューセッツ州に買収目的会社を設立し、公開買付を実施 ・ZOLL取締役会は本件買収に全会一致で賛同
買付期間	・発表日より10営業日以内の公開買付開始日から、最短20営業日の期間で買付を実施 (期間延長の可能性あり)
財務への影響	・のれん償却費、無形資産等の詳細は確定次第公表予定 ・2011年度第3四半期末B/S(D/Eレシオ0.33)を前提に試算すると、D/Eレシオは0.6前後となる
株主還元	・従来通り配当性向3割を目安に継続的な増配を目指す ・ヘルスケア領域における成長に向けての投資を継続し、株主様への還元は業績と共に安定的に向上させていく



昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、
次の時代へ大胆に応えていくために——。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

将来見通しに関する注意事項

本プレゼンテーションは、当社およびZOLLの見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、将来の業績に関する保証ではなくおよび将来における当社およびZOLLの実際の業績、展開または財務状況と大きく異なることとなるような知れたるまたは不知のリスク、不確実性その他の要素があります。これらの将来に関する記述は、「考えます」、「期待します」、「見込みます」、「計画します」、「意図します」、「は予定です」、「するつもりです」、「予測します」、「将来」、その他、これらと同様の表現、または特に「戦略」、「目標」、「計画」、「意図」等に関する説明という形で示されています。多くの要因によって、本文書に述べられている「将来に関する記述」と大きく異なる実際の結果が、将来発生する可能性があります。かかる要因としては、(i)公開買付けで買付け条件を満たすのに十分な株式が取得できない、(ii)本買収の完了に必要とされる規制上の条件または他の条件が充足されないリスク、(iii)当事者に関連する法制度、会計基準等またはその他の経営環境の変化が及ぼす影響、(iv)事業戦略を実行する上での課題、(v)金融の不安定性および他の一般的経済状況または業界状況の変化が及ぼす影響、および(vi)本買収の完了に関するその他のリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。当社もZOLLも、法律によって明示的に必要とされる場合を除いて、新情報、将来の情勢またはその他の結果として将来の見通しに関する記述を更新する義務は負いません。本発表における将来に関する記述は、この注意事項に従うこととなります。

追加情報

本プレゼンテーションに記載されている本公開買付けはまだ開始されていません。本プレスリリースは情報を提供するためだけのものであり、ZOLLの普通株式の買付けの応募、または売付けの募集を勧誘するものではありません。公開買付けは、当社およびSPCが米国証券取引委員会（以下「SEC」）に届け出るSchedule TOによる公開買付説明書（買収提案、送達状、その他の関連公開買付け文書を含む。）に基づいて実施されます。随時修正される可能性のあるこれらの資料には、提示の条件等の重要な情報が含まれることから、入手可能となった際には、公開買付けに関する決定をされる前に熟読されるようお願いいたします。投資家および株主は、当社およびSPCが届け出るこれらの資料（入手可能となった以降）およびその他の文書を、SECのウェブサイト<http://www.sec.gov>または当社のウェブサイト<http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/en/ir/index.html>から無料で入手することができます。